



しぜんきょうしつ みえた
自然教室で見た、
すばらしいすがた のびしろ
素晴らしい姿とこれからの「伸び代」

5がつ20にち 21にち 1ばく2にち 1ねんせい しぜんきょうしつ
5月20日～21日の1泊2日、1年生が自然教室へ
いって ちゅうがっこう にゅうがく やく1かげつはん しょうがっこう
行ってきました。中学校に入学して約1か月半。小学校と
ちがひ すこし なれて せいと しゅっぱつぜんじつ しぜん
の違いに少しずつ慣れてきた生徒たちに、出発前日の事前
しどう わたし なに しゅうだん さいこう
指導で、私は「何かをそろえることで、集団は最高の
ちーむ になる」という話をしました。かつて野球のWBCで
にほんだいひょう おなじぼーす をそろえることで ころも ひとつ
日本代表が同じポーズをそろえることで心を一つにした
ように、「そろえる」ことには集団を一体にする爆発的な
ちから があります。今回は「時間をそろえる」「行動をそろえ
る」「最高の思い出にするという心をそろえる」の3つを
いしき しようやく だいしぜん なか しゅっぱつ
意識しようと約束し、大自然の中へと出発していきまし
た。

げんち 2にちかん せいと すがた ほんとう すばらしい
現地での2日間、生徒たちの姿は本当に素晴らしいもの
でした。誰かに言われる前に「自分たちで何とかしよう」
と自然に声を掛け合い、きびきびと動いて「形をそろえよ
う」とするすがた、たくさんの場面で見られたのです。一人ひ
とりが責任を持って自分の役割を果たし、みんなの力で、
ただの個人の集まりから「最高のチーム」への第一歩を見事
ふみだす ことができた、100てんまんてん しぜんきょうしつ
に踏み出すことができた、100点満点の自然教室となりました。

ちゅうがっこうせいかつ はじまった こんかい
しかし、中学校生活はまだ始まったばかりです。今回の
かつどう つうじて ぜんいん しゅんかん かんぺき
活動を通じて、全員がすべての瞬間において完璧だったわけ
ではありません。もしかしたら「誰かが自分のために
いっしょうけんめいしごと あいだ しゅんかん すこしあそんで
一生懸命仕事をしてきている間、自分は少し遊んでしま
った」「誰かが部屋をきれいに片付けてきている間、自分



ひとまかせ
は人任せにしてしまった」という瞬間もあったのではない
しょうか。

ですが、私はそれを責めるつもりは全くありません。むしろ、これからの3年間のスタートである「いま」、この課題が
みつかってほんとうよかったかんじて
見つかって本当に良かったと感じています。もしこの2日間で
かんべきちーむ
完璧なチームになってしまっていたら、これからの3年間、も
うせいと
う生徒たちに「伸び代」がなくなってしまうからです。

本当の「最強のチーム」、そして「最高の学年」とは、大人の
めとどかないばしょだれみて
目が届かない場所、誰も見ていないところでも、仲間を
おもいやってじはつてきこうどうしゅうだん
思いやって自発的に行動できる集団のことです。

「誰かが働いてくれているなら、自分にできる手伝いは何だ
ろう？」

そうやって周りを思いやり、自分からそっと一歩を
ふみだせるやさしさしゅたいせい
踏み出せる優しさや主体性こそが、私たちがこれから
めざしていきつぎすてっぷ
目指していく次のステップです。今回の自然教室で学んだ
かたちこちよき
「形をそろえる心地よさ」は、これからの3年間を支える、
ゆるぎない、とても強固な土台となりました。これからは、こ
どたいうえひびがっこうせいかつぎょうじつうじておたがい
の土台の上に、日々の学校生活や行事を通じて「お互いを
おもいやるこころ
思いやる心」をそろえる」という素晴らしい伝統を、みんな
いっほつみあげて
一歩ずつ積み上げていきます。

3ねんごがくねんそつぎょうむかえる
3年後、この学年が卒業を迎えるとき、一体どんなに強くて
あたたかいさいきょう
温かい「最強のチーム」へと進化しているのでしょうか。未来
すがたそうそう
の姿を想像すると、今から胸が高鳴ります。無限の可能性を
ひめた1ねんせい
秘めた1年生の、これからのさらなる飛躍と、まばゆいほどの
せいちょうたのしみ
成長が楽しみでなりません。

